

JACDS ダイレクトニュース

発行：日本チェーンドラッグストア協会 広報担当

2020年6月 衛生用品などヘルスケア用品の伸び目立つ

経産省は7月30日、2020年6月分の商業動態統計（速報）を発表しました。

2020年6月のドラッグストア販売額は6,127億円、前年同月比で見ると6.5%の増加となっています。ただ、店舗数が4.0%増加していることから、1店舗当たりの売上は微増という状況です。

販売額全体で見ると化粧品は依然として2桁台の落ち込みが続き、新型コロナのマイナス影響を今も強く受け、深刻な状況に入っています。一方、ドラッグストア調剤はやや回復基調が見られます。

商品別にみると、ヘルスケア用品（衛生用品）・介護・ベビーが依然として目立っており、同32.4%の増加、家庭用品・日用消耗品・ペット用品が同11.9%の増加、食品が同11.3%の増加、その他が同15.7%の増加、調剤医薬品が同7.0%の増加、トイレタリーが同4.87%の増加となっています。

一方、ビューティケア（化粧品・小物）が同11.6%の減少、OTC医薬品が同0.7%の減少となっています。

■2020年1～6月 ドラッグストア商品別販売金額（対前年同月比 増減）

（単位：％）6月のみ速報値

	2020年	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総売上		6.3	19.1	7.6	10.8	6.4	6.5
調剤医薬品		11	16.7	10.8	11.2	2.4	7
OTC医薬品		0.8	18.1	▲5.3	▲1.1	▲5.3	▲0.7
ヘルスケア用品（衛生用品）・介護・ベビー		21	46.9	15.1	18.3	29.2	32.4
健康食品		7.6	13.4	▲4.3	▲3.9	▲6.2	1
ビューティケア（化粧品・小物）		2	3	▲10.2	▲15.4	▲18.5	▲11.6
トイレタリー		4.3	14.7	3	5.4	2.7	4.8
家庭用品・日用消耗品・ペット用品		5.1	30.8	18.9	20.2	11.1	11.9
食品		7.8	17.9	18.2	27.2	20.7	11.3
その他		▲0.0	11	5.6	9.4	12.9	15.7

経済産業省 商業動態統計速報 2020年7月30日

ドラッグストア調剤は、薬価引下げによる調剤報酬のマイナス影響分以上に、処方せん枚数の増加による売上拡大が目立っています。4月調剤分は6月下旬に支払われることから、今回調査には2020年4月改定分が反映されていると思われます。新型コロナで患者数が減少し、調剤薬局等は軒並み厳しい状況です。また特別調剤基本料が診療所まで適応され、さらに厳しくなると予測されます。

（文責：横田）

日本チェーンドラッグストア協会 事務局

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-10 楓第2ビル4階
TEL. 045-474-1311 FAX. 045-474-2569